



## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービス そらいろチョコプラス	
保護者評価実施期間	2025年12月1日～2026年1月20日	
保護者評価有効回答数	対象者数 1	回答者数 1
従業者評価実施期間	2025年12月1日～2026年1月20日	
従業者評価有効回答数	対象者数 6	回答者数 6
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日	

## 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への「寄り添い型」支援	面談や電話相談、日々の連絡帳を通じ、保護者の不安(就学や家庭での行動)に対し専門的かつ具体的な助言(支援)を行っています。	ITCツールの導入を活用して、リアルタイムでの情報共有や、忙しい保護者でも相談しやすい環境に取り組みで行きます。
2	遊びを通じた「学び」の提供	自由遊びの中でもソーシャルスキルトレーニング(SST)を自然に取り入れ、対人関係能力を育てています。	特定の発達の悩みに合わせた家庭でできるトレーニングを保護者に個別でトレーニングできる取り組みをしていきます。
3	児童の自己決定を促す支援(意思決定支援)	「選択肢」を提示することで、幼少期から「自分で選ぶ」意欲と自信を育てています。	児童が意思を決めるまで十分に待つ時間を確保し自分の決定がどうだったかを言語化・視覚化する習慣がつくように取り組んでいきます。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による多角的なアセスメント	理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)といった専門職は、病院や訪問看護ステーションとの争奪戦になっており、放デイへの応募は非常に少ないです。	専門職を惹きつけ、採用に繋げるための具体的な取り組みをしていきます。
2	地域とのネットワーク	他の児童発達支援・放課後等デイサービス・老人ホームとの交流を毎年行っていますが放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がもてない。	今後交流ができる機会を設けていくように取り組んでいきます。
3	ICTを活用したリアルタイムな情報共有	アプリ等を用いて、その日の活動写真や動画を保護者に素早く共有できていない。	ITCツールの導入を検討し、活動中の写真や動画をその場でアップロードし、保護者がスマホで即座に確認できるように取り組みを行っていきます。